世界に希望を生み出そう

会報
WEEKLY REPORT

2023-24 R.I.会長
ゴードン.R. マッキナリー
第2500地区第６分区帯広北ロータリークラブ
会　長／石　岡　幸　雄
副会長／萩　原　敬一郎
幹　事／南　出　雅　樹

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3085回 例会報告
2023.8.25

●例会日／金曜日〈12：30～13：30〉
●例会場／ホテル日航ノースランド帯広
●事務局／帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

■開会宣言　黒田　勇一　SAA
■点　鐘　石岡　幸雄　会長
■オブザーバー紹介　大浦　功之

来週から入会する大浦さんを紹介いたします。４５歳でうちのクラブでは最年少の会員となります。これで当クラブは６４名となります。本来は来週なのですが、せっかくこのような場があるので来ていただき皆さんと懇親を深めていただきたいと思います。(石岡会長)

帯広市自由が丘で建設業をしています大浦と申します。会社名は株式会社タスコムです。来週からお世話になりますのでよろしくお願い致します。
(大浦入会予定者)

■会長挨拶　石岡　幸雄　会長

皆さんこんばんは。先週の家族野遊会に続き夜間例会となります。火ノ川委員長が昼間仕事をしているという事で夜なら大丈夫との事で矢戸会員にお願いしてこの場をお借りすることが出来ました。予算の関係で最初から飲むのは控えていただき、例会が終わってからゆっくり飲みたいと思います。会員が1人増えて６４名という事で、出席率も昨年はコロナの影響もありましてずっと５０を切っていたのですが今年に入って６０に近いところで推移しております。本当にありがとうございます。今日は表はありませんが来週からまた貼りだしますのでよろしくお願い致します。休んだ方はメイキャップをお願いしたいと思います。先月の例会で会員の在籍年数表をお配り致しましたが、当クラブ入会２年未満の会員は大浦さんを含めて１２名いらっしゃいます。入会したての会員はいきなり６０名の会員の顔と名前を覚えるのも大変だと思いますが、在籍年数の古い会員も新しい会員を覚えるのが大変です。本日はなるべく１カ所に固まらず、できるだけ席を移動して、たくさんの会員と交流していただければと思います。　本日はよろしくお願い致します。

■プログラム
【会員卓話】　火ノ川　好信　職業奉仕委員長

本日は職業奉仕とはと題してお話しさせていただきます。

そもそも職業奉仕という名称は1927年、ベルギーで行われた国際大会でそれまでのロータリーの一般奉仕概念が「職業奉仕」「クラブ奉仕」「社会奉仕」に分類されたことから始まります。1928年には「国際奉仕」が追加され、「青少年奉仕」に至っては2010年とかなり最近の出来事になります。

1931年には職業奉仕とは、職業分類による専門職務、商取引、その他事業の場において、ロータリー個人が行うべき「奉仕の理念の実践」であると明記されているので、よく言われる「職業奉仕とはロータリーの根幹だ」という言葉もうなずけるところがあるでしょう。それがよく皆さんが目にしたロータリーの木に象徴されるものになっていきます。

職業奉仕が何を指すのかと問いかけると大きく分けてこのようなものをあげる方がいらっしゃいます。1つに職業倫理の考え方、2つ目にシェルドンの思想、3つ目に天職であるという考え方、そして近年では職業を活かした社会貢献をあげる方もいます。

ロータリの目的を細かく紐解いていくと、このように職業倫理、シェルドンの思想、天職であるという考え方が鏤められていて、なるほど、それぞれにどこにピンとくるのかで職業奉仕への捉え方が違ってくるのも頷けます。

しかし時代とともに職業奉仕の捉え方も変化していることを紹介します。

1987年に職業奉仕に関する声明が出されました。「職業奉仕とはあらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法である。職業奉仕の理想に本来込められているものは次のものである。」の3番目に「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。」という言葉が示されています。ちなみに手腕とは「知識・技術・経験」を指すのですが、

1987年以降、1989年ロータリアンの職業宣言、2011年ロータリーの行動規範、2014年ロータリーの行動規範（改訂）、2014年　ロータリアンの行動規範と立て続けに職業を活かした社会貢献をすることを推進していました。そしてさらに2016年には標準ロータリクラブ定款第6条の2が追加されます。

その内容は、「奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、」とここまでは変わらないのですが、この後に「そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。」という言葉が追記されました。1987年から続いてきた推進から、定款にのるということはやらなければならないこととして捉えなくてはならない、ロータリアンの使命とも言える内容です。

定款第6条に関しても細かく紐解いてみると、職業倫理、シェルドンの思想、天職としての考え方、さらに職業を活かした社会貢献が鏤められているのがよくわかります。

このように過去はロータリアンとしての職業上の務めを果たすことが必要だった時代から、今は職業人としてのロータリアンの務めを果たす時代へと変化して職業奉仕の範囲が増えていることが理解できるでしょうか。

現在のMY ROTARYには職業奉仕はこのように記載されています。「職業奉仕はすべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることです。」

まさに職業人としてのロータリアンの務めを色こく示した言葉だと言えるでしょう。

さて、本日なぜに私が移動例会ではなくこのような例会を開催したかというと、職業奉仕委員会の任務とは何かが明らかになっているからです。職業奉仕委員会の任務とは「職業奉仕の定義の理解を促し、実践に関する指導・援助を行うこと。」更に「職業を活かした社会貢献のプロジェクトを行うこと。」と明記されているからです。

特に年数の若い会員にはぜひ職業奉仕とはなんなのかを考えていただき、移動例会があった際にもその場で何を見聞きするためにあるのかをはっきりさせて欲しいという思いと、何度も出てくる社会貢献プロジェクトについて考えていただきたいと思ったからです。

帯広北ロータリークラブでもこの社会貢献活動に、定款に乗っている以上は取り組まなければなりません。そんな難しいことではなく、例えばあなたの職業について中高生に講演したり、ベンチャー企業への支援や職業文化の普及活動など、職業人であるロータリアンの手腕を活かす機会はいくらでもあるはずです。

私は1月にもう一度担当例会を行うことになっているのでぜひ今後の礎になるような例会にしたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

■次週のプログラム予定

「ゲスト卓話又は会員卓話」

■閉会宣言　　　　黒田　勇一　SAA

■点鐘　　　　石岡　幸雄　会長

■出席報告／長谷川道正　出席委員長

会員数	計算に用いる会員数	ホームクラブ出席数	メークアップ	欠　席	出席率

例会案内

〈**月曜日**〉広尾RC:日高信金広尾支店
帯広南RC:北海道ホテル
〈**火曜日**〉芽室RC:めむろーどセミナー
帯広東RC:ホテル日航ノースランド
〈**水曜日**〉帯広RC:ホテル日航ノースランド
上士幌RC:川村福祉会館
音更RC:ハピオ木野
〈**木曜日**〉足寄RC:足寄銀河ホール21
清水RC:清水町中央公民館
帯広西RC:北海道ホテル

発　行／会報広報委員会　　　委員長／川端　正幸